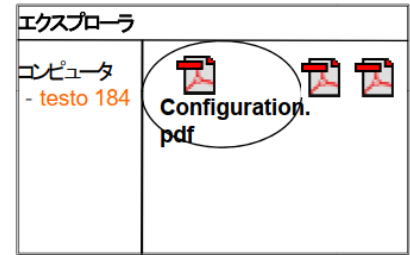


1. 接続

ロガーの下部キャップを外し、PCとロガーを接続をします。testo 184はUSBメモリと同じ様に(リムーバブルディスク)として認識されます。ストレージ中の、「Configuration.pdf」をAdobe Readerで開きます。



! PCのセキュリティ設定として、外部メモリ(リムーバブルディスク)への読み込み/書き込み制限がされている場合は使用できません。予めIT担当者へご確認いただくか、制限の解除した上で使用ください。

2-1 設定

PDFファイルを開くとファイル上で設定情報を入力出来るようになっています。

Configuration Data Logger testo 184

① **言語** Japanese

設定条件をインポート インポート

設定アシスタント

製品の保管温度帯域は？

2-8°C
 15-25°C
 その他

製品の保管湿度帯域は？

20%-40%
 40%-60%
 その他

製品が受ける振動・衝撃の最大値は？

4g
 10g
 その他

輸送期間は？

輸送期間は 10 日

レポートに表示するタイムゾーンは？

タイムゾーン UTC+09:00 Seoul, Tokyo, Yakutsk

ここをクリックして、データロガーに設定データを転送してください

機種を選択 T1 T2 T3 T4 H1 G1

高度設定モード はい いいえ

高度設定モード

一般情報

レポートの言語 English メール 送信者

レポートのトピック UTC+09:00 Seoul, Tokyo, Yakutsk 受信者

レポートのタイムゾーン コメント

機器設定

測定間隔 0 時 15 分 LCDディスプレイ有効化 タイムマーク有効化

スタート条件 ボタン 時間 LEDディスプレイ有効化 NFC

スタート日時 01-09-2013 12:00 日付/時間の種類 DD-MM-YYYY hh:mm

スタート遅延 0 時 0 分 MKT有効化 83.144 KJ/mol

ストップ条件 ボタン 時間 バッテリー残量 120 日

ストップ日時 02-09-2013 12:00

アラーム設定

方向	上下限值/単位	アラームの種類	許容する時間
<input checked="" type="checkbox"/> 温度 ↑	8.0 °C	cum.	60 分
<input checked="" type="checkbox"/> 温度 ↓	2.0 °C	cum.	60 分
<input type="checkbox"/> 湿度 ↑	— °C	cum.	60 分
<input type="checkbox"/> 湿度 ↓	— °C	cum.	60 分
<input type="checkbox"/> MKT ↑	— °C	cum.	60 分
<input type="checkbox"/> MKT ↓	— °C	cum.	60 分
<input checked="" type="checkbox"/> 湿度 ↑	40.0 %	cum.	60 分
<input checked="" type="checkbox"/> 湿度 ↓	20.0 %	cum.	60 分
<input checked="" type="checkbox"/> 衝撃 ↑	4.0 g		

ここをクリックして、データロガーに設定データを転送してください

①言語選択

→設定ファイルの表示言語をプルダウンから選択します。(多言語対応)

ここではJapaneseを選択します。

②機器の選択

→設定するロガーのモデルにチェック

③高度設定モード(推奨)

→"はい"にチェックを入れてください。

④レポートの言語

→PDF測定レポートの出力言語をプルダウンから選択します。(多言語対応)

⑤一般情報

→任意のフィールドです必要な情報を入力ください。

⑥機器設定

→裏面2-2.で説明しています。

⑦アラーム設定

→裏面2-3.で説明しています。

⑧設定ファイル出力ボタン

→設定ファイル(.xml)が出力されます。裏面2-4.を参照ください。

2-2. 測定設定

機器設定で、測定間隔、スタート条件、ストップ条件などを設定します。

- ①測定間隔
→1分～24時間(または1440分)の間で入力
- ②スタート条件
→STARTボタンで開始か、指定時刻で開始するか選択
- ③スタート遅延
→ボタンスタートのとき、記録を開始するまでの遅延時間を設定可能
- ④ストップ条件
→物理ボタンで終了か、指定時刻で終了するか選択
- ⑤表示/NFC
→LCD(液晶)ディスプレイ有効化: 画面表示のon/off
→LEDディスプレイ有効化: LEDライトのon/off
→タイムマーク有効化: STARTボタンを長押しするとレポートにその時間のタイムスタンプを表示できる機能のon/off
→NFC: Androidデバイス上アプリ"testo 184 NFC"とロガーが通信し測定値をアプリ上で表示する機能のon/off
- ⑥日付/時間の種類→プルダウンで任意の形式を選択
- ⑦MKT(平均キネティック温度)有効化
→演算に使用される活性エネルギー値を入力
- ⑧バッテリー残量→データロガーのバッテリー残量

スタート/ストップ条件が時間のとき

指定日時を入力してください。

ストップ条件はボタン/時間の両方を選択可能。どちらかに設定することも可能です。

2-3. アラーム設定

機器設定で、測定間隔、スタート条件、ストップ条件などを設定します。

- ①任意の単位を選択してください。レポートにも反映されます。
- ②有効にするアラームにチェックを入れてください。温度x4つのアラームが設定可能です。
- ③上下限值に対して逸脱する方向を選択してください。
- ④上下限值を入力してください。
- ⑤cum.(累積)またはsin.(単発)を選択してください。
- ⑥cum.(累積)アラームのときの許容時間を入力してください。

2-4. 設定ファイルの転送

ここをクリックして、データロガーに設定データを転送してください

最後に設定ファイル出力ボタンをクリックすると設定ファイル(.xml)が生成されます。これをロガーメモリ内に保存すると設定が完了します。

同じ設定を複数台に適用する場合、ファイルをローカルに保存して、複製使用することを推奨します。

3. 測定の開始・終了

測定開始待機中

測定中

4. 測定データの閲覧

PCとロガーを接続します。



接続後、自動的にレポートが生成されます。
"testo 184 measurement report"をAdobe Readerで開きます。